

自動走行システム・システム実用化WG(第43回)議事録

1. 日 時 平成28年 5月11日(水) 10:00～12:00

2. 場 所 中央合同庁舎8号館6階 623会議室

3. 出席者:

(PD)	葛巻 清吾	トヨタ自動車株式会社 CSTO 補佐	
(主査)	稲垣 敏之	筑波大学 副学長・理事(総務・人事担当)	
(副主査)	鶴浦 清純	株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員	
(副主査)	金光 寛幸	トヨタ自動車株式会社 情報電子システム開発部 主査	
(副主査)	白土 良太	日産自動車株式会社 モビリティ・サービス研究所 主任研究員	
	浅田 浩之	三菱自動車工業株式会社開発本部 車両先行研究部 部長	
	内村 孝彦	ITS Japan 理事	
	柴田 英司	富士重工業株式会社 車両研究実験第4部 主幹	
	佐藤 彰典	電子情報技術産業協会 (日本電気新事業推進本部 スマートモビリティシニアエキスパート)	
	村上 裕一	日本自動車部品工業会 (アイシン精機(株) 技術企画部 主席技師)	
	山田 憲一	ダイハツ工業株式会社 開発部 機能部品開発室 主担当員	
	山本 康典	マツダ株式会社 技術研究所 人間機械システム研究 研究長	
	楠 正憲	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 政府 CIO 補佐官	
	市川 類	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官	(代理:原洋一)
	加藤 伸宏	警察庁 長官官房 参事官	
	中村 裕治	総務省 総合通信基盤局新世代移動通信システム推進室 室長	
	吉田 健一郎	経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術 ITS 推進室 室長	
	河南 正幸	国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長	
	久保田 秀暢	国土交通省 自動車局 技術政策課 国際業務室 室長	

(自動走行システム推進委員会)

(SPD)	有本 建男	政策研究大学院大学 教授・科学技術振興機構 兼開発戦略センター上席フェロー	
(SPD)	福島 正夫	日産自動車株式会社 R&D エンジニアリング・マネジメント本部 グローバル技術渉外部顧問	
	岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト	
	片原 尚俊	電子情報技術産業協会 (富士通(株) Mobility IoT 事業本部エキスパートアドバイザー)	
	加藤 晋	産業技術総合研究所 研究グループ長	
	川本 雅之	筑波大学 教授	
	清水 和夫	自動車ジャーナリスト	(代理:林愛子)
	永井 正夫	日本自動車研究所 代表理事・研究所長	

(オブザーバー)

福田 由貴	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付 交通安全対策担当参事官	
	(代理:中川専門職)	

(事務局)

松本 英三	内閣府 大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)
森下 信	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 企画官
吉川 元淳	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 上席政策調査員

4. 議題

1) 事務局連絡

- (1) システム実用化 WG 対象施策 進捗状況報告
- (2) システム実用化 WG 構成員名簿の更新

2) 平成 28 年度施策内容【施策紹介】

・警察庁施策

- (1) 警 1:自動走行の実現に向けた信号情報提供技術の確立【新】
- (2) 警 2:自動走行の実現に向けた交通規制情報管理システムの構築【新】
- (3) 警 3:自動走行の実現に向けた車両・歩行者等検知情報提供技術の確立【新】
- (4) 警 6:国際的に開かれた研究開発環境の整備【新】

・経済産業省施策

- (5) 経 6 :「走行映像データベース」の構築技術の開発及び実証【継】
- (6) 経 6 :車外情報の活用に係るセキュリティ技術の研究・開発プロジェクト【継・追加】
- (7) 経 6 :交通事故低減効果詳細見積りのためのシミュレーション技術の開発に係る調査【継】
- (8) 経 6 :地域交通 CO2 排出量の可視化【継】

3) 共有情報

- (1) 自動走行ビジネス検討会(H27 年度活動報告)
- (2) 国際活動報告(三極会議・TRA:4/18-22 会議報告)

5. 配付資料

資料 4 3 - 1 - 1	H28 年度施策一覧 (160511 現在)	【非公開資料】
資料 4 3 - 1 - 2	システム実用化 WG 構成員名簿(160511 現在)	
資料 4 3 - 2 - 1	警察庁：平成 2 8 年度施策概要	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 1 - 1	警 1：自動走行の実現に向けた信号情報提供技術の確立	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 1 - 2	警 2：自動走行の実現に向けた交通規制情報管理システムの構築	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 1 - 3	警 3：自動走行の実現に向けた車両・歩行者等検知情報提供技術	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 1 - 4	警 6：国際的に開かれた研究開発環境の整備	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 2 - 1	経 6 :「走行映像データベース」の構築技術の開発及び実証	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 2 - 2	経 6 :車外情報の活用に係るセキュリティ技術の研究・開発	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 2 - 3	経 6 :交通事故低減効果詳細見積りの為のシミュレーション	【非公開資料】
資料 4 3 - 2 - 2 - 4	経 6 :地域交通 CO2 排出量の可視化	【非公開資料】
資料 4 3 - 3 - 1	自動走行ビジネス検討会 今後の作業	
資料 4 3 - 3 - 2	三極会議 & TRA 実施報告	【非公開資料】

【参考資料】

参考資料 1	システム実用化WG（第 4 2 回）議事録案（電子配布）	【非公開資料】
--------	------------------------------	---------

6. 議事要旨

1) 事務局連絡

- (1) システム実用化 WG 対象施策 進捗状況報告
 - 資料 4 3 - 1 - 1 に基づき、事務局より説明があった。
- (2) システム実用化 WG 構成員名簿の更新
 - 資料 4 3 - 1 - 2 に基づき、事務局より説明があった。

2) 平成 28 年度施策内容【施策紹介】

・警察庁施策

- (1) 警 1 : 自動走行の実現に向けた信号情報提供技術の確立【新】
 - 資料 4 3 - 2 - 1、2 - 1 - 1 に基づき、説明と議論があった。
- (2) 警 2 : 自動走行の実現に向けた交通規制情報管理システムの構築【新】
 - 資料 4 3 - 2 - 1 - 2 に基づき、説明と議論があった。
- (3) 警 3 : 自動走行の実現に向けた車両・歩行者等検知情報提供技術の確立【新】
 - 資料 4 3 - 2 - 1 - 3 に基づき、説明と議論があった。
- (4) 警 6 : 国際的に開かれた研究開発環境の整備【新】
 - 資料 4 3 - 2 - 1 - 4 に基づき、説明と議論があった。

・経済産業省施策

- (5) 経 6 : 「走行映像データベース」の構築技術の開発及び実証【継】
 - 資料 4 3 - 2 - 2 - 1 に基づき、説明と議論があった。
- (6) 経 6 : 車外情報の活用に係るセキュリティ技術の研究・開発プロジェクト【継・追加】
 - 資料 4 3 - 2 - 2 - 2 に基づき、説明と議論があった。
- (7) 経 6 : 交通事故低減効果詳細見積りのためのシミュレーション技術の開発に係る調査【継】
 - 資料 4 3 - 2 - 2 - 3 に基づき、説明と議論があった。
- (8) 経 6 : 地域交通 CO2 排出量の可視化【継】
 - 資料 4 3 - 2 - 2 - 4 に基づき、説明と議論があった。

3) 共有情報

- (1) 自動走行ビジネス検討会(H27 年度活動報告)
 - 資料 4 3 - 3 - 1 に基づき、説明と議論があった。

(2) 国際活動報告(三極会議・TRA:4/18-22 会議報告)

Ø 資料 4 3 - 3 - 2 に基づき、説明と議論があった。

7. その他

Ø 次回(第 4 4 回)は 5 / 2 5 (水) 10:00 ~ 12:00 @ 中央合同庁舎 8 号館 6 階 623 会議室にて開催を予定。